

# 釧路南ロータリークラブ会報

第17回 例会報告 2007.11.2 通算1228回

・点 鐘 佐野会長

・ロータリーソング

「奉仕の理想」「君が代」「四つのテスト」

ソングリーダー 工藤ゆかり会員



・誕生祝

和田 優会員 S21. 11. 6 (61歳)

・結婚祝

山本 美穂会員 H 4. 11. 2 (15年目)

伊東 良孝会員 S53. 11. 3 (29年目)

高橋 康成会員 S42. 11. 5 (40年目)



山本会員



高橋会員

・会長挨拶

10月28日(日)帯広にて新入会員研修セミナーが開催されました。南クラブからは私と、多田会員、和田勝利会員、山本会員、菅井会員の5名が出席してきました。講師はR I 第2780地区(茅ヶ崎湘南RC)パストガバナー松宮剛さんの講義を受けました。「ロータリーを考える」をテーマに、内容は

- 国際ロータリーの現状を知る
- ロータリーの親睦と奉仕を考える

- 金看板として職業奉仕とは何か
- DLP、CLPを如何に捉え推進するか
- ロータリーの将来を考える

大変勉強になりましたが、少し難しい講義でした。新入会員のみなさん頑張ってロータリーを学んでください。

・幹事報告

- \* 根室RC、釧路西RC、釧路ベイRC、別海RC、浜中RCより11月のプログラム、10月の会報を拝受しております。
- \* 根室西RC、白糠RCより11月のプログラムを拝受しております。
- \* 釧路東RCより11月のプログラム、9月の月報を、釧路北RCより11月のプログラム、8月の月報を拝受しております。
- \* 11月4日(日)18:00 釧路北RC「めぐみ」上映会です。お忘れなく。
- \* 11月9日(金)釧路ベイRCより、集団メーキャップ11名の参加となります。南クラブの会員も多数参加をお願いします。
- \* 釧路青年会議所創立55周年記念フォーラムのご案内を拝受しております。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

和田 優会員 誕生祝として  
山本 美穂会員 結婚祝として  
伊東 良孝会員 結婚祝として  
高橋 康成会員 結婚祝として  
長倉巨樹彦会員 ゴルフコンペで優勝しました

・出席委員会

会員28名 17名出席 60.7%

・ GSE委員会

船戸GSE委員長



『GSE (研究グループ交換) とは』

GSEは、ロータリー財団の文化交流プログラムで、世界的な相互理解と友好親善を推進するために、国を異にする個人と個人が親しく触れ合い、意見を交換するユニークな機会を提供します。

このプログラムでは、国際ロータリーに属する地区ガバナー同志が決めた地区でペアを組み、専門職業人の団員(原則として4名、男女不問、年齢25才~40才)とロータリアンである団長で構成される研究チームを派遣しあいます。チームの滞在は、原則としてホームステイで行われ、相手国の市民の日常生活を内部から体験できます。

国際ロータリー財団は、往復の航空運賃を負担します。その国(地区)での滞在、研修費用は相互の地区にて負担します。研修の内容は、国、行政、司法、教育、社会事業、農業、商業、工業、研究、宗教および文化、レクリエーションなどの一般研修と、それぞれの団員の専門職業に関連した職業研修をミックスして、現地ロータリーが立案します。通常の観光旅行では得られない素晴らしい研修と人生経験が可能になります。GSEチームの団員の一人一人が市民親善大使であり、帰国後は、この訪問により得た知識を自国内に広める義務を持っています。

・本日のプログラム

「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団委員会

● 国際奉仕委員長

花田善廣



今月はロータリー財団月間となっております。毎年、RI会長や地区ガバナーからも1人100ドルの寄付を目標に要請があり、クラブの国際奉仕、財団委員会もこの時期に皆さんにそのようにお願いしているところですが、その財団へ寄付をしたお金の流れがどのようになっているのかをお話させていただきます。シェアを通じて、ロータリーの地区は支援したり、参加したりする財団プログラムを選ぶことができます。財団プログラムはロータリーの使命に賛同するロータリアンや他の支援者の方々からの任意の寄付によって支えられています。シェアシステムを通じて、財団プログラムの補助金や奨学金が世界中に授与されています。

ロータリー財団への寄付は国際親善奨学生、研究グループ交換、マッチンググラントをはじめとする各種プログラムで活用されています。毎年ロータリー年度末に、年次プログラム基金への地区の寄付の50%が地区財団活動資金(DDF)へ、残りの50%が国際財団活動資金(WF)へ配分されます。資金のサイクルとして財団独自の資金周期の下、寄付は授与された3年後にプログラムのために使用されます。この3年周期は地区にプログラムの計画や参加者の選考のための時間を与えるだけでなく、財団がこの寄付を投資活用することを可能にしています。投資による収益によって、管理運営費、プログラム運営費、寄付増進の経費がまかなわれます。

この仕組みは以下の理由から「シェア」と呼ばれています。

- ・ロータリアンは、世界中のロータリアンとその資産をシェア(共有)する。
- ・財団管理委員会は、意思決定の権限の一部を地区にシェア(共有)する。
- ・ロータリアンは、財団を通じて世界中のロータリーをシェア(共有)する。



・次回のプログラム

11月9日(金)

「会員増強フォーラム」

会場 釧路全日空ホテル

担当：会員増強委員会

・点 鐘 佐野会長

今週の会報担当：多田和代会員